



<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izu>

読書のすゝめ

校長 中澤 道則

梅雨。「ばいう」とは元々、違う文字だったのですが、梅の実が熟す頃の長雨ということでこの文字が当てられたとされています。「つゆ」という読みは、雨が続いて「露に濡れて湿っばい」という意味の「露けし」からとったという説があります。どちらにしてもこれから、鬱陶しい天気が続きます。

子ども達にとっても、外で体育をしたり遊んだりすることが少なくなる時期です。そんな梅雨時、私は子ども達に「読書」に親しんでほしいと思っています。読書には「言葉の数を増やす」、「文章を書く力を伸ばす」等、様々な良い点があります。そして何よりも、子ども達の想像力を豊かにするためにとても効果的です。文字であらわされた世界の向こう側に広がる情景を想像しながら本を読んでいると本当にワクワクしてきます。私も小学校時代にはずいぶん本を読みました。エルマーシリーズにドリトル先生シリーズ。高学年になってからは歴史にはまって、「義経記（大河ドラマで菅田将暉さんが演じていましたね）」や「太閤記」、「水滸伝」等を読みふけたことを覚えています。子どもの頃に読んだ本というのは、いつまでも心に残っているものです。

本校の学校図書館、「和泉っ子図書館」では4月から5月にかけて「図書館開き」がありました。右の写真は1年生の図書館開きの様子です。みんなとてもお行儀よく司書教諭の早川先生や学校司書の吉永先生の話聞いていました。もう「新入生」ではなく、立派な「1年生」です。和泉っ子図書館では学校司書の吉永先生が、子ども達が使いやすいように、そして楽しめるように、環境整備をしたりいろいろな企画をしたりして子ども達が来るのを待っています。また、和泉っ子図書館はブックルさんや装飾ボランティアさんなど、たくさんの保護者の皆様にも支えてもらっています。ありがとうございます。鬱陶しい梅雨時ではありますがそれをチャンスと考えて、子ども達にはたくさんの良書に親しんでほしいと思っています。



新しく来られた先生方の推薦図書コーナー

コロナ禍にあっても蒸し暑い梅雨、暑い夏は容赦なくやってきます。そんな中で新型コロナウイルス感染症と並んで気をつけなければならないのが熱中症です。今月も子ども達が安心して豊かに学校生活を送ることができるよう、教職員一同、健康と安全に十分留意して教育活動を進めてまいります。保護者・地域の皆様におかれましては引き続きご理解、ご協力賜りますよう、何卒宜しくお願いいたします。